

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

26.03.03

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日
Date of Application:

2002年 3月29日

REC'D 23 MAY 2003

WIPO PCT

出願番号
Application Number:

特願2002-094619

[ST.10/C]:

[JP2002-094619]

出願人
Applicant(s):

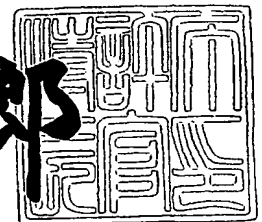
ジョンソン コントロールズ オートモーティブ システム
ズ株式会社

**PRIORITY
DOCUMENT**
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 5月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3033400

BEST AVAILABLE COPY

【書類名】 特許願

【整理番号】 A02-005

【提出日】 平成14年 3月29日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 B60N 1/04

【発明の名称】 乗り物用シート

【請求項の数】 3

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県綾瀬市小園771番地 ジョンソン コントロ
ールズ オートモーティブ システムズ株式会社内

【氏名】 朴 吉三

【特許出願人】

【識別番号】 000210089

【氏名又は名称】 ジョンソン コントロールズ オートモーティブ シス
テムズ株式会社

【代表者】 宮田 進

【代理人】

【識別番号】 100083806

【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 秀和

【電話番号】 03-3504-3075

【選任した代理人】

【識別番号】 100068342

【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 保男

【選任した代理人】

【識別番号】 100100712

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩▲崎▼ 幸邦

【選任した代理人】

【識別番号】 100087365

【弁理士】

【氏名又は名称】 栗原 彰

【選任した代理人】

【識別番号】 100079946

【弁理士】

【氏名又は名称】 横屋 赳夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100100929

【弁理士】

【氏名又は名称】 川又 澄雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100095500

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 正和

【選任した代理人】

【識別番号】 100101247

【弁理士】

【氏名又は名称】 高橋 俊一

【選任した代理人】

【識別番号】 100098327

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 俊雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001982

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9713250

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 乗り物用シート

【特許請求の範囲】

【請求項1】 車体に対して前後動可能なると共にスライドロック機構により適宜の位置で固定可能なると共に常時前側に付勢されてなるスライド装置と、該スライド装置に支持されてなる支持フレームと、該支持フレームにリクライニング装置により前後回転制御自在に支持されてなるシートバックと、前記支持フレームにリフタ機構により上下動自在なると共にチップアップ機構により前側が跳ね上げ可能に支持されてなるシートクッションとより構成されてなり、

前記チップアップ機構のペダルレバーの踏み込み量に応じてシートクッションをチップアップ作動又はウオークイン作動させてなることを特徴とする乗り物用シート。

【請求項2】 請求項1に記載の乗り物用シートにおいて、

前記ウオークイン作動時には、リクライニング装置のロックを解除してシートバックを前倒し可能なることを特徴とする乗り物用シート。

【請求項3】 請求項1又は請求項2に記載の乗り物用シートにおいて、

前記シートクッションのフレームに保持されてなるペダルレバーと、該ペダルレバーに軸支されてなるスライド解除リンクと、前記支持フレームに回転自在に軸支されてなると共に前記スライド解除リンクに一方が若干離間して配されてなるスライド解除プレートと、前記ペダルレバーに連結してなるリクライニング解除ワイヤと、前記スライド解除プレートに連結してなるスライド解除ワイヤとより構成されてなり、

前記スライド解除リンクが前記スライド解除プレート的一方を押圧しない程度にペダルブラケットを踏み込むとリクライニング解除ワイヤのみを作動させて、リクライニング装置のロックを解除してシートバックを前倒し可能とし、

前記スライド解除リンクが前記スライド解除プレート的一方を押圧する程度にペダルブラケットを踏み込むと、リクライニング解除ワイヤのみならず、スライド解除ワイヤを作動させて、スライド装置のスライドロック機構を解除することを特徴とする乗り物用シート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、自動車、船舶、航空機、鉄道車両など乗り物用シートに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

乗り物用シート装置として、シートバックを前側に倒させると共にシートクッションを前側にスライドさせる、所謂ウオークイン機構を備えたものとして、特開昭61-205524号公報、特開昭63-191942号公報、特開昭62-84536号公報などに示すようなものがある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、このような従来の乗り物用シート装置にあっては、シートクッションが単に前側に移動するだけで、該シートクッションの前側が跳ね上がる（チップアップ）構造ではないので、シートクッションの前後幅分前側への移動量に限界がある点で、改善が求められている。

【0004】

そこで、この発明は、このような従来の技術に着目してなされたものであり、シートクッションの前側を跳ね上げつつ、所謂ウオークイン機構を備えてなる乗り物用シートを提供する。

【0005】

【課題を解決するための手段】

請求項1に記載の発明は、車体に対して前後動可能なと共にスライドロック機構により適宜の位置で固定可能なと共に常時前側に付勢されてなるスライド装置と、該スライド装置に支持されてなる支持フレームと、該支持フレームにリクライニング装置により前後回転制御自在に支持されてなるシートバックと、前記支持フレームにリフタ機構により上下動自在なと共にチップアップ機構により前側が跳ね上げ可能に支持されてなるシートクッションとより構成されてなり

、前記チップアップ機構のペダルレバーの踏み込み量に応じてシートクッションをチップアップ作動又はウオークイン作動させてなる。

【0006】

請求項1に記載の発明によれば、チップアップ機構のペダルレバーの踏み込み量が少ない時には、シートクッションの前側が跳ね上がるチルトアップ作動が可能であり、該ペダルレバーの踏み込み量を前記チップアップ作動時より大きい時には、スライド装置のスライドロック機構を解除して付勢力によってスライド装置によりシートクッションを前側に移動するウオークイン作動が可能である。つまり、チルトアップ作動とウオークイン作動とが選択的に可能であり、シートクッションをチップアップしている時は、シート装置が複数列配設されていても荷物室を大きくするなどの目的でシート装置を寄せ集めることが可能である。また、シートクッションをウオークイン作動させると、そのシート装置の後側のシート装置に着座した乗員の前側の空間が大きくなり、居住性が向上する。

【0007】

請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の乗り物用シートにおいて、前記ウオークイン作動時には、リクライニング装置のロックを解除してシートバックを前倒し可能なる。

【0008】

請求項2に記載の発明によれば、請求項1に記載の効果に加え、シートクッションが前側に移動するのみならず、シートバックが前倒しできるので、そのシート装置の後側のシート装置に着座した乗員にとって乗降のためのドア開口が大きく開き、乗降性が著しく向上する。

【0009】

請求項3に記載の発明は、請求項1又は請求項2に記載の乗り物用シートにおいて、前記シートクッションのフレームに保持されてなるペダルレバーと、該ペダルレバーに軸支されてなるスライド解除リンクと、前記支持フレームに回転自在に軸支されてなると共に前記スライド解除リンクに一方が若干離間して配されてなるスライド解除プレートと、前記ペダルレバーに連結してなるリクライニング解除ワイヤと、前記スライド解除プレートに連結してなるスライド解除ワイヤ

とより構成されてなる。前記スライド解除リンクが前記スライド解除プレート的一方を押圧しない程度にペダルブラケットを踏み込むと、リクライニング解除ワイヤのみを作動させて、リクライニング装置のロックを解除してシートバックを前倒し可能となる。前記スライド解除リンクが前記スライド解除プレート的一方を押圧する程度にペダルブラケットを踏み込むと、リクライニング解除ワイヤのみならず、スライド解除ワイヤを作動させて、スライド装置のスライドロック機構を解除する。

【0010】

請求項3に記載の発明によれば、請求項1又は請求項2に記載の効果に加え、ペダルブラケットの踏み込み量に応じて、シートクッションのみが作動する、所謂チルトアップ作動が行われる場合と、シートクッションが前側に移動すると共にシートバックが前側に倒れ込む、所謂ウオークイン作動が行われる場合とが選択的に行われる。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の好適な実施形態を図面に基づいて説明する。尚、FRを前側、RRを後側、UPを上側、LWRを下側として説明する。

【0012】

図1乃至図5は、この発明の一実施形態を示すもので、符号1は、「乗り物」用としてのシート装置で、該シート装置1は、「車体」であるスライド装置2と、支持フレーム3と、シートクッション4と、シートバック5と、リクライニング装置6と、チップアップ機構7と、リフタ機構8と、ウオークイン機構9とより少なくとも構成されてなる。「少なくとも構成されてなる」とは、この他に、前記シートバック3の上端部に支持されてなるヘッドレスト、適宜の位置に保持されてなる安全ベルトなど数多くの構成部材が有るからであるが、これらは周知であるので、図示及び説明を省略した。

【0013】

前記スライド装置2は、前側FRの第1ブラケット11と後側RRの第2ブラケット12とにより床面9（図2参照）に固設されてなると共に上側UPに空隙

が形成されてなる固定レール 1 3 と、該空隙内に挿入されて前後何れかにスライド可能なる断面逆 T 字状の可動レール 1 4 と、前記固定レール 1 3 に対して適宜の位置で可動レール 1 4 を停止可能なるスライドロック機構 1 5 と、前記固定レール 1 3 及び可動レール 1 4 の間に懸架されて前記可動レール 1 4 を常に前側 F R に付勢してなるコイル状のスプリング 1 6 と、図示を省略したローラと、ボールベアリングとよりなり、左右対称に並列されてなる。

【 0 0 1 4 】

前記支持フレーム 3 は、該スライド装置 2、2 の可動レール 1 4、1 4 上に、後側 R R をスライド装置 2、2 に対して直角状とした直角三角形に形成してなる縦壁状をなした鉄板よりなるフレーム本体 2 1、2 1 と、該フレーム本体 2 1、2 1 の一方に形成されてなる上下方向に長孔 2 2 とよりなる。

【 0 0 1 5 】

前記リフタ機構 8 は、前記フレーム本体 2 1 の内側、即ちシート装置 1 側に突設されてなる第 1 軸部 2 3 及び第 2 軸部 2 4 と、前記第 1 軸部 2 3 に回転自在に支持されてなる歯車 2 5 と、前記歯車 2 5 に噛合すると共に第 2 軸部 2 4 に回転自在に軸支されてなるセクタギア 2 6 とよりなる。前記歯車 2 5 は、前記セクタギア 2 6 の歯 2 6 a の前側 F R に配設されてなる。前記長孔 2 2 は、前記セクタギア 2 6 の第 2 軸部 2 4 を中心にした円弧状に形成されてなり、該長孔 2 2 内に、後述する第 3 軸部 2 7 が遊動自在である。前記歯車 2 5 は、操作手段 3 0 により回転操作可能である。

【 0 0 1 6 】

前記シートクッション 4 は、閉ループ状のシートクッションフレーム 3 1 と、該シートクッションフレーム 3 1 の前後間をブラケット 3 5 を介して架橋してなる複数の S 字スプリング 3 2 と、前記シートクッションフレーム 3 1 を覆う図示しないパッド及び表皮とよりなる。前記シートクッションフレーム 3 1 の後端部 3 1 a には、前記第 3 軸部 2 7 が固設されてなり、該シートクッションフレーム 3 1 は、その後端部 3 1 a から前端部 3 1 b まで前後に延在されてなり且つその途中で前記セクタギア 2 6 の第 2 軸部 2 4 の周面上に載置されてなる。

【 0 0 1 7 】

前記セクタギア 26 の第 2 軸部 24 は、前記支持フレーム 3 のフレーム本体 21 に固定されてなる固定軸 28 と、該固定軸 28 の外周面に回転自在に軸支された回転軸 29 とよりなり、前記回転軸 29 に前記シートクッションフレーム 31 を載置してなる。前記固定軸 28 と前記回転軸 29 との間には、グリースなど潤滑剤などが塗布されている。符号 33 は、ゴム製の緩衝体で、前記シートクッションフレーム 31 の下側 LWR に突出されているブラケット 34 の下面に固着されていて、回転軸 29 とシートクッションフレーム 31 との干渉音を防止している。前記固定軸 28 には、前記回転軸 29 の抜け防止手段を設けてなる。該抜け防止手段としては、固定軸 28 の軸を外側に膨らまして、そこに回転軸 29 を挿入することで、抜け止めにしている。

【0018】

前記シートバック 5 は、パイプ状で正面視逆 U 字状をなすシートバックフレーム 41 と、該シートバックフレーム 41 の下端部 41a より若干上側 UP の後側 RR の面に上端部 42b が溶接により支持されてなるパイプ状のサブフレーム 42 と、前記シートバックフレーム 41 の下側 LWR を左右に架設させてなるワイヤ 43 とよりなる。前記シートバックフレーム 41 の下端部 41a とサブフレーム 42 の下端部 42a との前後幅の中に、前記リクライニング装置 6 が入る間隔に配されている。符号 44 は、前記リクライニング装置 6 の後述するカバー 51 の後側 RR 間に溶接支持されてなるロアフレームである。同じく符号 45 は、図示しないヘッドレストのホルダである。

【0019】

前記リクライニング装置 6 は、前記シートバックフレーム 41 の下端部 41a とサブフレーム 42 の下端部 42a とを覆うカバー 51 と、介在部材 52 と、前記支持フレーム 3 のフレーム本体 21 の上端部に支持されるベースプレート 53 と、シートバック 5 を前側 FR に常時付勢している巻きスプリング 54 と、デバイスレバー 55 とよりなり、該デバイスレバー 55 を持ち上げることで、図示を省略したロック機構が解除することができる。該リクライニング装置 6 のロックが解除すると、巻きスプリング 54 によって、シートバック 5 を前側 FR に回転付勢する。前記カバー 51 の前端部に前記シートバックフレーム 41 の下端部 4

1 a が溶接により支持されてなると共に前記カバー 51 の後端部に前記サブフレーム 42 の下端部 42 a が溶接により支持されてなる。

【0020】

前記チップアップ機構 7 は、前記フレーム本体 21 の外側に突出形成されてなり且つ前記第 3 軸部 27 を中心にした円弧状の貫通孔 62 が形成されてなる規制部 61 と、前記第 3 軸部 27 より後側 RR に延在されてなるアーム 63 と、該アーム 63 に立設されてなり且つ前記貫通孔 62 及び該貫通孔 62 と同形にフレーム本体 21 に形成された貫通孔（図示省略）に挿通され且つ移動できる第 4 軸部 64 と、前記フレーム本体 21 に突設されてなる第 5 軸部 65 と、前記第 4 軸部 64 及び第 5 軸部 65 間に懸架されてなるコイル状のスプリング 66 とよりなる。符号 67 は、前記フレーム本体 21 に形成されてなるチップアップロック孔で、後述するペダルレバー 71 に連結されていて、該ペダルレバー 71 の回転代及び前記シートクッションフレーム 31 のチップアップ量を規制している。

【0021】

前記ウオークイン機構 9 は、前記シートクッションフレーム 31 の第 3 軸部 27 より吊り下げられてなるペダルレバー 71 と、前記支持フレーム 3 のフレーム本体 21 に第 6 軸部 73 により回転自在に軸支されてなるスライド解除プレート 72 と、後端部 74 a が前記ペダルレバー 71 の切り起こし片 71 a に回転自在に軸支されてなると共に前端部 71 b の切り込み 75 に前記スライド解除プレート 72 の一方 72 a に配されたピン 76 が遊動自在に軸支されてなるブーメランの形状をしたスライド解除リンク 74 とよりなる。前記スライド解除プレート 72 の一方 72 a 及び他方 72 b には、前記スライド装置 2 のスライドロック機構 15 に連結したスライドロック解除ワイヤ 77、78 に連結されている。符号 79 は、前記ペダルレバー 71 に一端部が結合され且つ他端部が前記リクライニング装置 6 に結合されてなるリクライニング解除ワイヤである。符号 80 は、前記スライド解除プレート 72 を常時後側 RR に付勢している巻きスプリングである。

【0022】

次に、この実施形態に係る作動を説明する。

【0023】

前記サブフレーム42がパイプ材よりなるので、所定の強度を維持しつつ前後幅が不用な分、シートバック5の前後幅が薄くなり、シートバック5が占める居住空間を広いものとする事が出来る。

【0024】

前記リクライニング装置6の前後幅は、前記シートバックフレーム41と前記サブフレーム42とのそれぞれの下端部41a、42aの間に入るので、シートバック5からリクライニング装置6まで一様の前後幅であり、局部的に前後幅が大きくなならない分、スマートなシートバック5を得ることが出来る。

【0025】

シートクッションフレーム31を上下動させるリフタ機構8のセクタギア26も歯車25も、シートクッションフレーム31に配置されていないので、リフタ機構8を備えているにも係わらず、シートクッション4の上下幅を薄くでき、軽やか感やスポーティ感を与えることができる。

【0026】

前記フレーム本体21に支持された第3軸部27が移動できる長孔22が、前記セクタギア26の第2軸部24を中心とする円弧状であるので、該長孔22と第3軸部27とのずれが生じにくく、ガタ発生が生じにくいことになる。

【0027】

前記歯車25は、前記セクタギア26の歯26aの前側FRに配設されてなるので、操作手段30の操作部を持ち上げると、歯車25とセクタギア26の歯26aとが離れることなく同じ方向に回転できるので、操作手段30の操作性がよい。また、操作手段30の傾かせた方向、例えば操作部を持ち上げれば、シートクッションフレーム31の前側FRが上側UPに移動できるので、操作フィーリングが良い。

【0028】

前記支持フレーム3は、後側RRをスライド装置2に直角状とした直角三角形に形成してなるので、シートクッション4と床面10との間に空間18を形成して、シートクッション4を浮遊しているイメージを与えることが出来る。また、

シートクッション4の下側LWRへ横から荷物を出し入れしやすくなる。

【0029】

前記セクタギア26の第2軸部24は、前記支持フレーム3に固定されてなる固定軸28と、該固定軸28の外周面に回転自在に軸支された回転軸29とよりなり、前記回転軸29に前記シートクッションフレーム31を載置してなるので、前記シートクッションフレーム31が回転軸29の回転によりスムーズに移動できる。

【0030】

前記固定軸28に前記回転軸29の抜け防止手段を設けてなるので、前記回転軸29の上に載るシートクッションフレーム31による荷重が加わっても、固定軸28から回転軸29が抜け防止手段によって抜けることがないので、確実性が向上する。

【0031】

次に、リクライニング装置6の作動について説明する。デバイスレバー55を操作すると、ロックが解除されて、シートバック5が前後に傾動自在になる。このとき、乗員がいなければ、スプリング54の付勢力によりシートバック5が前側FRに傾くことができる。

【0032】

次に、チップアップ機構7の作動について説明する。ペダルレバー71を後席乗員などが踏み込むと、該ペダルレバー71がシートクッションフレーム31を押し上げるので、第3軸部27を中心にチップアップロック孔67の範囲内で、シートクッションフレーム31の前端部31bが上側UPに跳ね上がる方向に回転を始め、スプリング66のデッドポイントを超えるまで踏み込むことで、スプリング66の付勢力でシートクッションフレーム31は、跳ね上がる（これを、チルトアップという）ことが出来る。図4に示すように、前記スライド解除プレート72のピン76とスライド解除リンク74の切り込み75との間には、適宜の隙間81があるので、この段階では、ピン76は動かない。シートクッションフレーム31を元の位置へ戻すには、スプリング66のデッドポイントを超えるまで押し下げると、再びスプリング66の付勢力でシートクッションフレーム3

1を図4に示す位置まで復帰させることができる。

【0033】

次に、リフタ機構8の作動について図3を用いて説明する。操作手段30を持ち上げると、歯車25が正回転することで、セクタギア26の歯26aによりセクタギア26が正回転し、第3軸部27が長孔22内で下側LWRへ移動しながらシートクッションフレーム31の後端部31aの高さを下げることで、前端部31bが持ち上がり、視野が広がる。この逆で操作手段30を押し下げれば、歯車25が逆回転することで、セクタギア26の歯26aによりセクタギア26が逆回転し、第3軸部27が長孔22内で上側UPへ移動しながらシートクッションフレーム31の後端部31aの高さを上げることで、前端部31bが下がることになる。

【0034】

最後に、ウオークイン機構9の作動について説明する。チルトアップ機構7と同じように、ペダルレバー71を後席乗員などが踏み込むと、該ペダルレバー71がシートクッションフレーム31を押し上げるので、第3軸部27を中心にチルトアップロック孔67の範囲内で、シートクッションフレーム31の前端部31bが上側UPに跳ね上がる方向に回転を始め、スプリング66のデッドポイントを超えるまで踏み込むことで、スプリング66の付勢力でシートクッションフレーム31は、跳ね上がる（これを、チルトアップという）ことができるまでは説明した。更に、ペダルレバー71を踏み込むことで、図4に示す前記スライド解除プレート72のピン76とスライド解除リンク74の切り込み75との間の隙間81がなくなり、ピン76を付勢し、スライド解除プレート72は第6軸部73を中心に回転し、スライド解除ワイヤ77、78を介してスライドロック機構15のロックを解除するので、スプリング16により可動レール14が前側FRに移動させる。と同時に、ペダルレバー71を踏み込むことでリクライニング解除ワイヤ79によりリクライニング装置6を解除し、シートバック5を前側FRに倒すことができる。こうして、例えばこの座席がドア開口を塞ぐ位置に配されていてもドア開口を広げる位置まで移動し、その座席の後側に配された乗員の乗降を可能とすることができる。

【 0 0 3 5 】

尚、本発明は、前記した実施形態の構造に限定されず、各部の形状、構造等を、必要に応じて適宜変形、変更することは自由であり、シート装置 1 の各部について種々の変形を含むものである。例えば、前記実施の形態は、シートバック 5 の傾動動作を手動のデバイスレバー 55 を用いているが、これに限定されず、シートバック 5 を傾動させ得る構造であれば、種々の手段を適宜採用して良いことは勿論である。

【 0 0 3 6 】

【発明の効果】

請求項 1 に記載の発明によれば、チップアップ機構のペダルレバーの踏み込み量が少ない時には、シートクッションの前側が跳ね上がるチルトアップ作動が可能であり、該ペダルレバーの踏み込み量を前記チップアップ作動時より大きい時には、スライド装置のスライドロック機構を解除して付勢力によってスライド装置によりシートクッションを前側に移動するウオークイン作動が可能である。つまり、チルトアップ作動とウオークイン作動とが選択的に可能であり、シートクッションをチップアップしている時は、シート装置が複数列配設されていても荷物室を大きくするなどの目的でシート装置を寄せ集めることが可能である。また、シートクッションをウオークイン作動させると、そのシート装置の後側のシート装置に着座した乗員の前側の空間が大きくなり居住性が向上する。

【 0 0 3 7 】

請求項 2 に記載の発明によれば、請求項 1 に記載の効果に加え、シートクッションが前側に移動するのみならず、シートバックが前倒しできるので、そのシート装置の後側のシート装置に着座した乗員にとって乗降のためのドア開口が大きく開き、乗降性が著しく向上する。

【 0 0 3 8 】

請求項 3 に記載の発明によれば、請求項 1 又は請求項 2 に記載の効果に加え、ペダルブラケットの踏み込み量に応じて、シートクッションのみが作動する、所謂チルトアップ作動が行われる場合と、シートクッションが前側に移動すると共にシートバックが前側に倒れ込む、所謂ウオークイン作動が行われる場合とが選択

的に行われる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明の一実施形態に係るシート装置の斜視図である。

【図 2】

図 1 のシート装置の側面図である。

【図 3】

図 1 のシート装置の要部であるリフタ機構を示す側面図である。

【図 4】

図 2 の要部のチップアップ機構及びウオークイン機構を示す図 2 相当図である。

【図 5】

図 1 の要部のリクライニング装置を示す斜視図である。

【符号の説明】

- 1 「乗り物」としてのシート装置
- 2 スライド装置（車体）
- 3 支持フレーム
- 4 シートクッション
- 5 シートバック
- 6 リクライニング装置
- 7 チルトアップ機構
- 8 リフタ機構
- 9 ウオークイン機構
- 15 スライドロック機構
- 16 スプリング
- 31 シートクッションフレーム
- 41 シートバックフレーム
- 71 ペダルレバー
- 72 スライド解除プレート

74 スライド解除リンク

77, 78 スライドロック解除ワイヤ

79 リクライニング解除ワイヤ

FR 前側

RR 後側

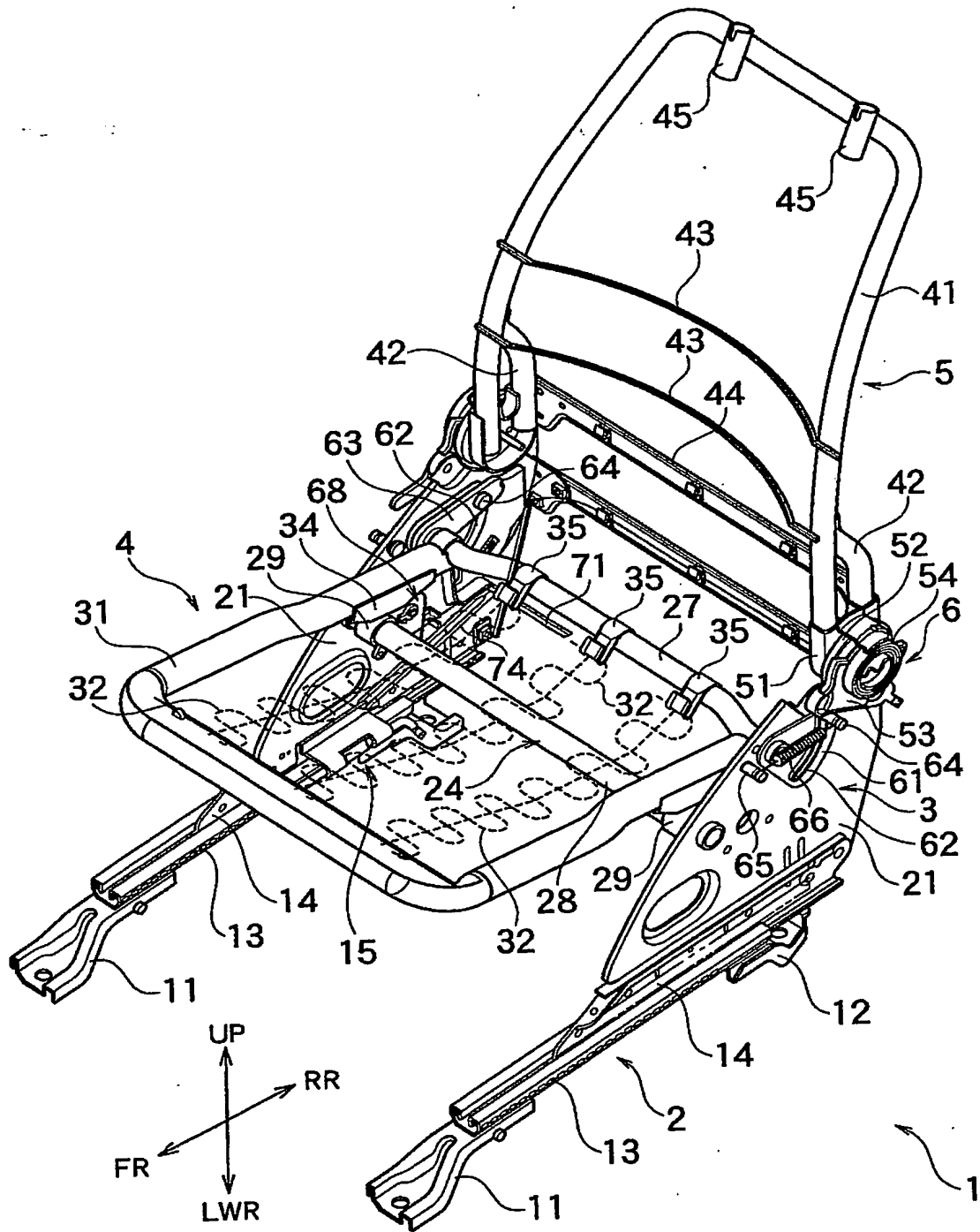
UP 上側

LWR 下側

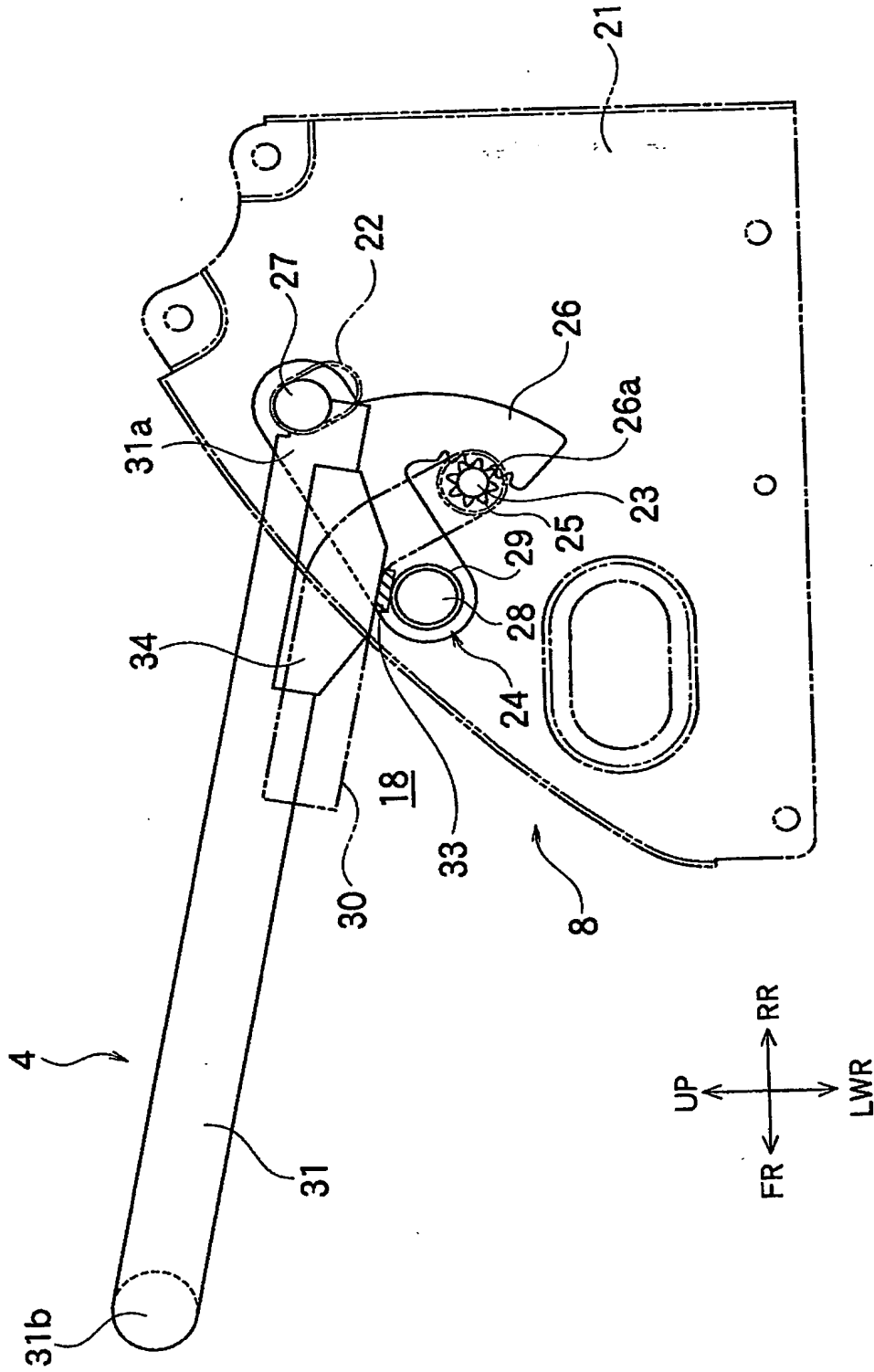
【書類名】

図面

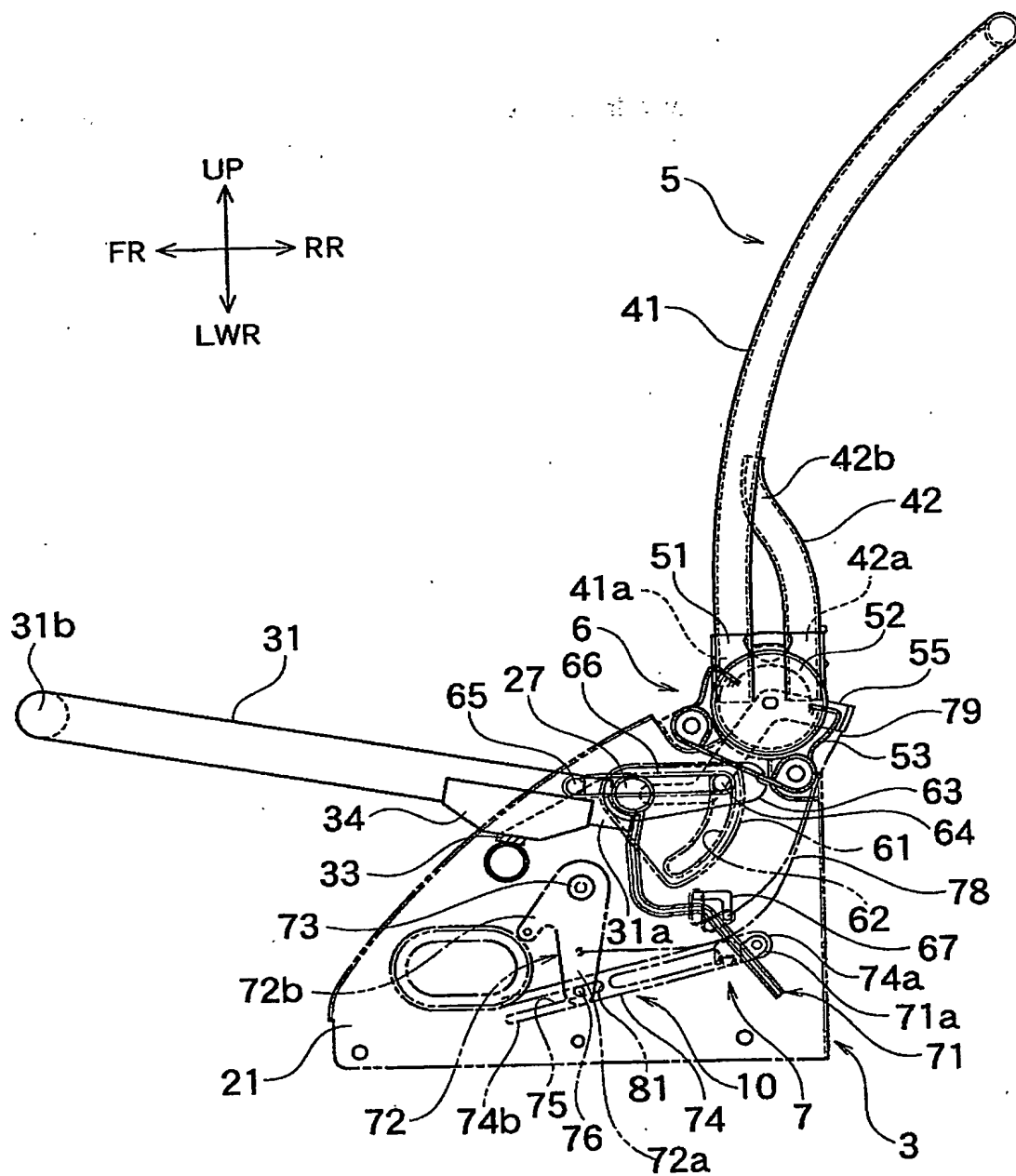
【図 1】



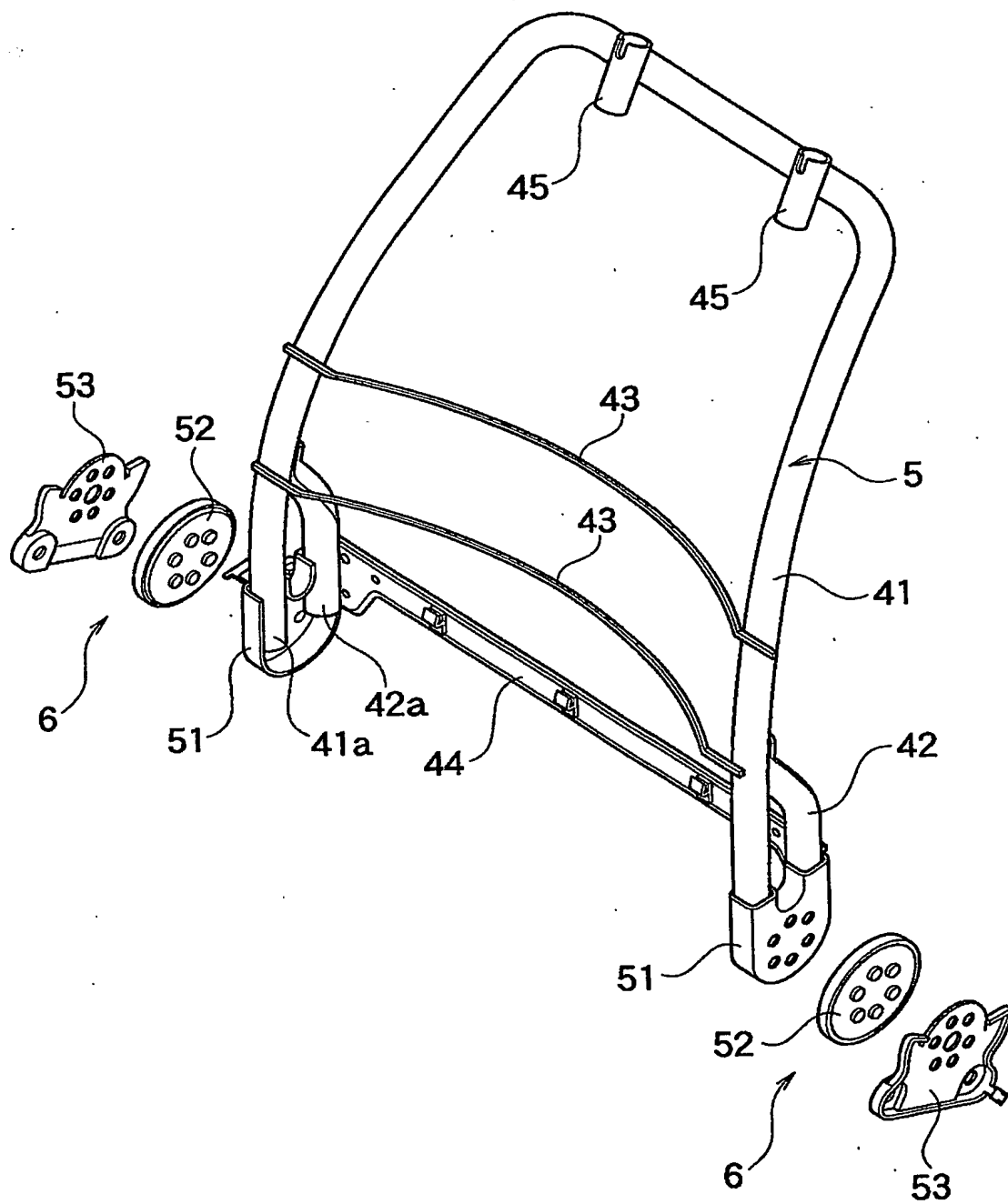
【図 3】



【図4】



【図5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 シートクッションの前側を跳ね上げつつ、所謂ウオークイン機構を備えてなる乗り物用シートを提供する。

【解決手段】 車体に対して前後動可能なると共にスライドロック機構 1 5 により適宜の位置で固定可能なると共に常時前側 F R に付勢されてなるスライド装置 2 と、該スライド装置 2 に支持されてなる支持フレーム 3 と、該支持フレーム 3 にリクライニング装置 6 により前後回転制御自在に支持されてなるシートバック 5 と、前記支持フレーム 3 にリフタ機構 8 により上下動自在なると共にチップアップ機構 7 により前側 F R が跳ね上げ可能に支持されてなるシートクッション 4 とより構成されてなり、前記チップアップ機構 7 のペダルレバー 7 1 の踏み込み量に応じてシートクッション 4 をチップアップ作動又はウオークイン作動させてなる。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000210089]

1. 変更年月日 2001年 4月 2日
[変更理由] 名称変更
住 所 神奈川県綾瀬市小園771番地
氏 名 ジョンソン コントロールズ オートモーティブ システムズ
株式会社